

第3回

徹明小学校・木之本小学校統合準備委員会 会議録

と き：H 24.4.24（火）13:30～15:30
と ころ：市役所低層部4F 全員協議会室

出席者 自治会連合会 松原会長[徹明]、古澤会長[木之本]
野口副会長[徹明]、長野支部長[木之本]
P T A 水岡顧問[徹明]、宮崎会長[木之本]
遠藤副会長[徹明]、大山副会長[木之本]
学 校 杉山校長[徹明]、吉村校長[木之本]
辻教頭[徹明]、吉岡教頭[木之本]
事 務 局 教育委員会事務局 島塚事務局長
長原次長兼教育立市政策審議監
教育政策課 後藤主任、三村主事
前教育政策課 古山主任（以上17名）

次第

- 1 前回会議録の確認
- 2 議事
 - (1) 委員の自己紹介及び副委員長を選任
 - (2) 規約の確認
 - (3) 今後の協議事項とスケジュール
 - ①協議事項
 - ・地元意見の集約方法について
 - ・統合小学校における学校運営のあり方（統合担当教員等から）
 - ・学校施設の概要
 - ・跡地利用について
 - ・現在の通学路と統合後の通学路のあり方
 - ②スケジュール案について
- 3 次回の協議事項・日程

○決定事項

- ①木之本の自治会連合会長の交代に伴い、副委員長を古澤新自治会連合会長に委任
- ②第2回議事録の発言を一部修正
- ③各種会合で統合の必要性をオープンにし、その際には事務局が説明に伺う
- ④説明対象は現PTA会員や統合対象（H27年度在籍生徒）の3年生以下でなく幅広い世代で行う
- ⑤まずは木之本小PTAの会合にて事務局が説明会を行う

○次回について

- ・12月の報告提出までの具体的なスケジュールを事務局から提案する
- ・金華・京町統合担当教頭とスケジュール調整が取れたら当時の状況を伺う
- ・次回は5/22（火）13:30～に開催予定

会議録（要旨）

事務局 本日は第2回の議事録を確認後、議事の進行を松原議長にお願いし、次第にそって進めていきたいと思ひます。本日は会議終了後、統合再編により岐阜中央中学校の敷地に新設された京町公民館をご覧いただく予定になっています。

それでは事前に郵送させていただいた前回の会議録についてご意見等があれば発言願ひます。

（一部修正し、市のホームページで公開することを承認）

本日は役員の改正等により一部委員、事務局の担当者も代わっておりますので簡単に自己紹介をしていただいた後に、北川木之本自治連合会長が代わられたので、改めて副委員長の選任をお願いするという段通りで進めたいと思ひます。

委員長 それでは第3回準備委員会を開催したいと思ひます。本日は委員が変更になっていますので事務局の方で紹介していただきたいと思ひます。

（変更のあった方がそれぞれ自己紹介）

事務局 副委員長の選任あたっては、前回双方の自治会の連合会長でお願いをしたらどうかと事務局側で提案させていただきました。その結果自治会連合会長歴の長い徹明の松原自治連合会長方が委員長になられた経緯から、木之本の古澤自治連合会長に副委員長をお願いしたいと

考えています。

古澤自治連合会長に副会長をお願いするというご賛同いただけますか。

(全委員承諾)

**委員長
事務局**

それでは規約の確認をしたいと思います。

規約の中の組織の第3条第1項第2号ですが、PTAについてはそれぞれご事情があるので、必ずしも会長でなくてもよいという意見が多数ありましたのでPTAに関しては「会長が指名する者 2名ずつ」に変更させていただきました。それ以外は事前に示した案のとおりでございます。

(全委員承諾)

**委員長
事務局**

続きまして3番目の協議事項とスケジュールについて検討したいと思います。

事務局から過去の事例等をお話しさせていただきますが、この準備委員会という場合は統合を最終決定する場ではございません。地元の意見を集約して市に提言していただく場でございます。そのため岐阜小や先日統合しました明郷小の事例を簡単にご説明させていただきたいと思っております。

委員

地元意見の総意をまとめるというのは非常に難しいと思います。積極的にこちらがいいと進めるのは、子供のことをよくわかっているPTAや学校であって、結論が出た後に地元で説得し、ご理解をいただくようにするのが連合会の役割であって、連合会はあくまでも第三者的立場であるべきだと思います。

委員

私も同意見です。自治会の統合ではなく、あくまでも学校の統合です。後、提案したいのが先生方もPTAの方も基本的に、精神的なところからいくより物理的なところからいく方が、説得しやすいのではないかと思います。

委員

個人的な考えですが、とりあえずPTAの会員の方に対し、事務局から統合に関する説明をしてもらい、統合された学校の方を招いて意見交換会を開いてもらえるとありがたいと考えています。

委員

私もそう思います。まずなぜ統合が必要なのかというところから説明して意見を集約するのがよいと思います。

委員

PTAから親御さんに何もアナウンスをしていない状態なので、いろんな噂だけが耳に入ってきます。なので、木之本と徹明が同じぐらいの時期に意見を伺うのが一番やりやすいし、必要ではないかと思えます。

- 委員 この会をスピーディに進めるためには、ここにいるメンバーが推進していく人間であることを浸透させ、責任をもって推進していくために僕たちも犠牲を払わないといけないと思います。さきほどPTAが主体になっていく時に、物理的にと言われたが具体的にどういう風にするのですか。
- 委員 現在の学校の在校生の問題と交通の2点ぐらいを説明してあげればいいと思います。連合会の立場としては、支部長会で徹明と木之本が統合することで決定していると報告しています。
- 委員 H27年に開校となると、説明は誰がどのようにするのですか。対象となるのは今の1年から3年でいいのでしょうか。次に入ってくる親御さんも説明するべきなのではないでしょうか。H27年に統合すると決定した以上は、スケジュールを逆算していくことが大事ではないかと思います。それに向かって自治会、学校、PTAそれぞれが要求を出して相違があるところをクリアしていくしかないと思っています。次回に向けて正直何を決めていけばいいのかわからないので、事務局にせめて今年度中のスケジュールを提示していただければと思います。
- 委員 今の保護者だけに意見を聞くと限定されるので、これから入ってくる3歳、4歳の親たちの意見も聞かなければいけないのではないかと思います。
- 委員 これからは入ってくる保護者さんたちには失礼だが関係ないと思います。我々が腹積もりして説明すれば今の父兄の方で文句を言われる方はそういないと思います。
- 委員 今までお聞きしていて基本的な姿勢をもう一度考えていたのですが、1つめとして情報はオープンにしたいと思います。今の経緯とか進捗状況だとか、正確で同じ内容をオープンにする。それは事務局の方に方法を考えていただく。2つめに意見を聞く、意見を言える何らかの場所、もしくは方法がある。それは意見を述べる場所をもつ、ペーパーを出すとかいろいろ方法があるかと思います。3つめは意見を述べていただく以上は責任のある意見を述べて欲しい。顔を見ながらであったり、きちっと名前を書いていただくようにする。なぜなら無記名だったり、顔が見えないと思いつきだったりすることがあるためです。4つめに対象を誰にするかですが、何よりも保護者の方の意見を尊重して欲しい。保護者の方の中には未就学児のお子さんがいらっしゃる方もみえるので、ある程度小さいお子さんを持つ親の意見も吸い上げられるのではないかと思います。学校が意見を言う対象に加えていただくのはありがたいですが、学校としては適正規模でいくという方向ではっきりとしています。
- 委員 先ほど連合会長さんが統合というのは保護者と学校の問題だと言われたが、学校に勤めておりますと地域の問題もあるように思われます。なぜなら教職員は人事異動で、保護者の方も世代交代されて変化

していくからです。そのため学校と保護者だけでどれだけの説明が出来るのか若干の不安があります。

委員

ここで話し合いに参加している私たちは統合の必要性を感じ、話し合いを進めていこうと考えていますが、保護者にも地域にも温度差があるように思います。まずは一番の身近な問題としてとらえてもらう保護者の温度差をいかになくすか、統合して適正規模にしていけないといけないという気持ちを持たせるのが前提なので、そのためには先ほどおっしゃっていたように、いろんなことをオープンにする。統合の必要性を知ってもらう機会が今までなかったので、早急にそういう場を設け、意見を述べていただきたいと思います。それは徹明と木之本で一致していつやるかを決定できればいいと思います。

委員

ですので、事務局の方に来てもらってみんなの前で説明してもらいたいと思います。

事務局

明德と本郷の時はスケジュールを決めて、それに向けていつまでに地域の意見をまとめて下さいとお願いしました。すでに総会の日になどは決まっていますので、きちっとした会でなくてよいので事務局に声をかけていただければ、いつでも説明に参ります。

委員

説明会を開く際に資料は用意してもらえますか。

事務局

同じものを準備します。われわれをうまく使っていただきたいと思います。明德と本郷の時は、親父の会とかそういう会に出させていただく中で、自然と地域の方に統合の必要性が浸透していき、意見が出ました。ただH27年という目標に向かって進めていくには、いつごろまでという期限は決めておいた方がいいと思います。集約の仕方については明郷と本郷の場合はそういう地元説明会をやった終盤で、アンケートをとっていった経緯はあります。アンケートは設問の仕方です。いろんな意味をもっていきますので、またそれはいろいろ考えていただければいいかと思います。我々としては逆に説明させていただきたいと思っています。

委員

さきほどアンケートとかの話が出ていましたがアンケートなんてどういう内容であればいいのですか。本当にアンケートなんかできるのですか。できるなら支部長会でいろんな意見がでるかと思います。

委員長

集約の参考に金華と京町の場合はどうでしたか。

事務局

金華と京町の場合は金華小学校の跡地に岐阜小学校を、京町小学校の跡地に中学校をもってくるという結論が、すでに連合会長さんを中心に地域の代表の方の間であったので、意見の集約をしたというような形ではありませんでした。

あと、先ほどお話のあったアンケートですが、いきなりやるものではないと個人的には思っています。我々がいろんな場にかがって統合の必要性を説明にあがればそこでいろんな質問が出ます。それが第一段階で、またその後考えればいいのかと思います。

- 委員** 説明に来られる時に統合に携わった人達を招くことは可能ですか。
- 事務局** 保護者の方は難しいと思いますが、統合の時に関係していた元教頭先生には説明に来ていただけることになっています。
- 委員** 保護者の方を集めて事務局から何らかの説明をしていただき、質疑応答なり意見交流の時間を持つというモデルを事務局の方から次回の準備委員会で提示していただきたいと思います。そういう方向でいきたいということをこの場で認めていただいた上で、進めていきたいという考え方です。
- 委員** 要望があるのでしたらこの場を出していただく。そうすれば次の一つの話し合う内容がはっきりしてくると思います。
- 委員** その場合、いわゆる入学予定者の方も対象にしてもらえますか。
- 委員** まずは今のPTAに説明をしておきたいです。それは次の段階だと思います。
- 委員** 先ほど先のことだと言われたが、アンケートというものは何らかの答えを導くものだと思っています。意見をもらった後それをどうするのか。その先のステップが見えません。意見が出てきた時に誰がどう対処するのですか。
- 事務局** 明德・本郷の例で申しますと、あげていただいた意見は最終的に、準備委員会の意見書という形で岐阜市、教育委員会に対して基本的に投げかけてもらっています。それで結構です。それに対して最終的に教育委員会はいただいた意見の中からこういうことをやらさせていただきます。もしくは、こういう事までは岐阜市の方針として決定させていただきますとさせていただきます。
- 委員** 意見というのは丸投げでよいということですか。
- 事務局** そうということです。その意見をまとめたものがお配りした資料の中にあります。
- 委員長** いろんな意見があるかと思いますが木之本で説明会を開催することで何か問題がありますか。
- 委員** 木之本と徹明での保護者の立場が違うように思われるので、別に合わせる必要はないと思います。ただ何か動きがあった場合、徹明の方にも教えていただきたいです。
- 委員** この説明会は、統合ありきの立場に立っていただくための説明会です。ここにいる私たちはありきですが、多くのPTAの皆さんの中にはまだまだ不十分な方もいらっしゃると思います。だからみなさんにありきの立場に立っていただくための説明会です。
- 意見や反響を聞かせてもらって徹明の方も勉強させていただきます。
- 委員長** それでは統合後の学校の様子を聞いてみるというのはどうでしょうか。
- 事務局** 金華と京町の統合担当教頭先生のことですか。日程調整が必要かと

と思いますが、お呼びすることは可能です。事前にこういう事をお聞きしたいというのがわかればスムーズに行くかと思います。

委員
事務局

教職員の立場としての見方しかわからないですね。

私は客観的な見方だと思います。

委員
事務局

親さんがどう思っていたか聞きたいです。

教頭先生の方が親御さんや子供さんとの関わり合いが大きかったので、事務局に聞くよりは親御さんの話が聞けると思います。

委員

この先生に来てもらって話を聞くということはどうでしょうか。

(全委員承認)

委員長

では来ていただくという方向で進めたいと思います。

あと、跡地活用についてですが地元でもいろいろと意見が出ています。その辺りどうですか。

委員

跡地利用とどの学校を使うかはセットで考えていただきたいと思います。

委員

もっともな話だと思います。こちらに学校が来る代わりにあちらには何々が出来るとういうことなら説得も出来ます。

事務局

第2回の委員会の時に岐阜市の基本的考えをお話ししたかと思いますが、学校が徹明行けば木之本はこう活用する、もしくは木之本へ行けば徹明はこう活用するとういう進め方ではなく、教育環境としてどちらの学校を使うべきかというのがあって、それから跡地はどうするのかというのが本来の順番ではないかと思います。

委員

それは筋かもしれないがセットでないと地元では説得しづらいと思います。

事務局

これは時間をいただきながら進めたいと思います。簡単にこっちならこうで、こっちならこうと示すようなお話ではありません。努力は致しますがご理解いただきたいと思います。

では次回の協議事項ですが前回もお話したとおり、次回につながるように終わりたいと思います。今日特に次はこれをやるというものがあればおっしゃってください。

委員

提案のあった前京町・金華のダブル教頭先生の日程の調整は可能ですか。

事務局

日程調整をして次回かその次くらいにはと思っています。

委員

もう一ついいでしょうか。資料2のスケジュールで校名の選定とか決定とか予算上決めないといけないのでしょうか。名前を変えるのが前提でしょうか。

事務局

これは明德と本郷の実績で書いてあるだけで、こちらはこちらのケースがあるかと思っています。

委員

他のところはみんな名前が変わっていますが。

事務局 そのように受けとめていただけたらと思います。では次回日程があれば当時の教頭先生に来ていただき、合わなければお示しした議題の中から12月までのスケジュールをこちらで組ませていただきたいと思います。